

公表

## 事業所における自己評価総括表【GreenEast】

○事業所名	放課後等デイサービス Greenst		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 12日		～ 令和 8年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 12日		～ 令和 8年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日違ったプログラムで色々学べてよい。	伝統的な行事や季節を感じられ学べるようなイベントに配慮しつつ、障害児の成長を支援する5つの柱(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)をふまえたプログラムになるよう考慮している。	利用者・保護者からのニーズを面談時や個別連絡を通して聞き取り、反映させていく。
2	スタッフは相談にも親身になって考えてくれ、よく様子を伝えてくれている。	送迎時や毎日の連絡帳でしっかり様子をお伝えしている。	利用者対応するスタッフに支援のばらつきが生じないように、毎日支援を行う際にはチームで連携し、更なる向上の為、反省を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など父兄同士が交流できる場の提供	通常のサービス提供時間と保護者同士が交流する時間の確保が難しい	保護者から要望を募り、親子イベントを企画していきたい
2	児童館など地域の子ども達と交流する機会の提供	地域の商店や企業とはハロウィンイベントなどを通して交流がある。しかし地域の子どもとは公園で自然な成り行きで一緒に遊ぶことはあるが、提供する機会は行っていない。	協議会などで周知される区の祭りに参加が出来るように検討をしていく。
3	学校との連携を通じた支援の提供	利用者の学校の様子は保護者を通さないと分からないため、連携を通じた支援の提供が難しいと感じることが多い。	保護者からの情報提供を得つつ、サービス担当者会議や事業所間連携会議など積極的に参加をしていく。